

令和3年度第1回別府市総合教育会議議事録

1 日 時 令和4年2月16日(水) 開会 午前10時 閉会 午前11時

2 場 所 別府市役所5階 大会議室

3 出席者

(構成員)	別府市長	長野 恭紘
	教育長	寺岡 悌二
	教育委員	福島 知克 (教育長職務代理者)
	教育委員	山本 隆正
	教育委員	川崎 栄一
	教育委員	新谷 なをみ
(事務局)	総務部長	末田 信也
	総務課長	牧 宏爾
	総務課長補佐兼係長	本田 壽徳
	総務課主事	中城 聡太
(関係部局)	教育部長	柏木 正義
	次長兼教育政策課教育施設整備室長	稲尾 隆
	教育政策課長	奥 茂夫
	教育政策課参事	吉田 浩之
	教育政策課参事	森本 悦子
	教育政策課参事	西澤 和江
	教育政策課長補佐兼指導主事	縄田 早苗
	教育政策課長補佐兼係長	釘宮 誠治
	学校教育課長	北村 俊雄
	学校教育課参事	松丸 真治
	学校教育課指導主事	長嶺 敏雄
	社会教育課長	古本 昭彦
	社会教育課社会教育主事	永尾 美保
	企画戦略部参事 (CDO)	浜崎 真二
	情報政策課長	新貝 仁
	市民福祉部長	田辺 裕
	子育て支援課長	宇都宮 尚代
	市立図書館長	檜垣 伸晶
	南小学校長	藤田 一樹
	亀川小学校長	志賀 貴代美

中部中学校長
別府西中学校長

佐藤 裕一
杉原 勉

4 議 事

- (1) 子どもの読書活動の推進について
- (2) コロナ禍における教育情報化の推進について

発言者	発言の要旨
社会教育課長	(別府市の読書活動の現状について説明)
市長	<p>そもそもなぜ本を読むことは大事なのかという共通認識が必要だと思う。皆さまのご意見を聞かせていただきたい。</p>
福島委員	<p>本を読むと、いろんな興味があることについて雑学が身につく。読んでいると他のことは忘れて集中でき、ストレス発散になる。インターネットで小学生の読書の目的を引いてみたら、「集中力が付く」「人の気持ちが理解できる」「コミュニケーション能力が付く」とあった。小学生にはそういうことを言わなければならないのではないかと思った。</p>
新谷委員	<p>長く中学校で教員をしていたが、勉強するのは真実を知るため、本当のことを知るためではないかと子供達に話をした。</p> <p>インターネット検索で出てくる情報は、どの情報が本当かわからないが、きちんとした本を読めば、本当のことが分かると思う。</p> <p>子供達にとって必要なことは新聞を読んだり本を読んだりする習慣を小学校、中学校の時に身に付けておいて、自分で何かあった時にそれを調べる力だと思う。</p> <p>また、自分とは違う世界、自分の知らない人生、経験できないことを読書によって経験できることも大切なことだと思う。</p>
川崎委員	<p>自分にとって必要なこと、関係のあることについては、新聞、専門書を手にとって読むことがある。それによって知識が深まったり、社会人としての教養が身についたりしたと思う。</p> <p>子供が面白いと思ってもらえるそんな授業を教師がやって、それをさらに深めて行って本にたどり着く、そういう中で読書習慣を身に着けることが大事ではないかなと思う。</p>
山本委員	<p>人によって色々な読み方が違うし、本をどういう時に使うかという所で、必要に迫られると読むし、読まなければいけない。動機付けが読書には必要と思う。</p>
寺岡教育長	<p>高校時代、夏休みの課題図書は義務的、強制的で読書についてはあまり興味を持つことができなかったが、時代が経つにつれて、自分の生き方を現実と比べるときに様々な小説家の本に触れたときに自分の生き方がそこで決まってくるような感じがする。</p>

福島委員	<p>読書というのは学びの要素であり、楽しみの要素でもあり、極めて重要な要素でもあるので、子供たちにそういう要素をしっかりと提供することが大事と思っている。</p> <p>人は十人十色。人は何に興味を持つか分からない。先生たちというのは子供に合わせた、この子供にはこうする、あの子供にはこうするという指導してあげないといけないのではないか。例えば、長編小説を漫画から入っていくということを私は行っている。</p>
市長	<p>委員の意見で共通するのは、豊かな人生を送るためには、読書を通じて様々な知識とか疑似体験が必要であるということである。</p> <p>騙されないとか、真理を追究していくという話も意見としてあったが、そのためには楽しいという所からの導入も必要じゃないかという話もあった。</p> <p>学校司書等の力を借りて、子供一人ひとりにあったコーディネートしていく力のスキルを伸ばしていくのも大事ではないかという意見もあった。</p> <p>家庭の中で親と子供が同時に本を読むことの意義とか、本の素晴らしさを学習して一緒に読んでいくのも必要ではないか。幼児教育、保育の段階からと考えるといけない。</p> <p>今月の推薦図書というのを市民の皆さんに発表して、2、3冊提案して市民の皆さんにできるだけ読んでもらうみたいなことをしてみるのはいかがでしょうか。</p> <p>本を読むことが目的になっては意味がない。教育の目的は何か、手段として本があるならば何でその手段が必要なのか、きちんと整理をして、教育部も市長部局も教育委員も共通認識、共通理解の上で進めていくべきではないかと思う。</p> <p>事務局の中で整理して議題の根幹部分がしっかりしてスタートできるようなものをまず作っていただいて、今日出た意見とまた事務局の意見としっかりと統合して提示をいただきたい。</p>
教育部長	<p>今後、教育委員会、またその他の部局も含めて考えて協議していきたい。</p>
市長	<p>読書習慣を形成するにはどうするか意見をいただきたい。</p>
新谷委員	<p>別府市は、図書館に行ったり美術館に行ったり音楽会に行ったり、そんな文化的な経験が少ないと感じている。家庭の中の環境が</p>

	<p>大きく影響していると思うので、これについて補完するのは保育園、幼稚園、学校の教育の場だと思う。</p> <p>保育園や幼稚園は読み聞かせを毎日たくさんしていると思う。小学校に入っても国語の中に図書の日というのがあると思うが、何を読めばいいのかというのが難しい。</p> <p>保育園、幼稚園、小学校、中学校この期間に本を読むことによって楽しかったとかそういう経験をする場をきちんとシステムティックに作っていく。これをやったら効果的だというものを集めて、どこの幼稚園も小学校、中学校もこれをやりますというのを作り上げたらある程度効果を上げるようなことができないかなと思います。</p>
山本委員	<p>一番大事なのは小さい時の読書の経験だと思う。絵本の読み聞かせは親の愛情表現の大切なツールである。それがうまく行くとまた次に本が入ってくる。</p>
川崎委員	<p>子供達にもいろいろ学ばなければならないことがたくさんあって、今は時間がない中でさらに読書をということで負荷をかけることについてはどうなのかなという感じがする。</p> <p>子供だけでなく先生たちも忙しいという状況にあるので、授業の質を上げていってその中で読書の習慣につなげるような姿が望まれる。</p>
教育長	<p>今、学校の方では一人ひとりの先生方に、主体的で対話的な深い学びというのがキーワードである。すべての活動に子供たちが主体的で対話的なしかも深い学びをということである。</p> <p>例えば国語の授業とかを参考にすると、子供達が課題を解決するためにあらゆる調べ学習、読書、人、経験、そういうものが必要になってくる。学校の中では本当に授業の質を変えて、子供たちが本に触れる、調べ学習から人との触れ合いから、そういうことで自分の読書との触れ合いを、魂を入れて生き方に関わるようなそういう教育が求められていると思った。</p>
市長	<p>教育部という殻の中だけに閉じこもってではなかなか解決はできないだろう。教育部だけでなくその他関係機関と共に進めていくことが必要である。</p> <p>保育園であるとか家庭教育であるとかいったところと連携をしっかりとったり表裏一体として一本のシステムというかシステム</p>

	<p>ティックな、本を好きになる、本を活用した課題の解決方法を頭の中で身に着けていただく体に染みつけるみたいな、そういった事が必要だと思う。</p>
<p>教育部長</p>	<p>委員さんの方からシステムであるとか習慣付け、学校や、幼児教育そういったところでも読書に対する取り組みが必要との意見をいただいた。そういったことについては一度持ち帰って読書活動推進計画の中でちゃんと盛り込まれているのか検証して再度確認していきたい。</p>
<p>市長</p>	<p>子供の読書活動につきましては、今出された意見を、今後の取り組みにしっかり生かしたいと思う。</p>
<p>教育政策課参事・学校教育参事</p>	<p>(コロナ禍における教育情報化の推進について説明)</p>
<p>市長</p>	<p>家庭と教室をオンラインで繋ぎ授業の様子を配信、視聴というようなことになっているが、全体がだいたいどれくらいあって、例えば、学年やクラスの休校がどれくらいあってそして家庭と教室をオンラインで繋いだ授業がどれくらいできているか。この点について説明をしていただきたい。</p>
<p>教育部長</p>	<p>小学校は別府市内14校あって、タブレットを活用した支援を行っている学校が10校ある。14校中10校ができていて4校ができていない。中学校は全部で7校ある。そのうち5校が活用できていて2校が活用できていないということになっている。</p> <p>どういった取り組みをしているのか、現場の校長先生に来ていただいているので、話を聞いていただければと思う。</p>
<p>別府西中学校長 亀川小学校長</p>	<p>(各学校の取り組みについて説明)</p>
<p>市長</p>	<p>技術的には、リモートの授業は全校で行えるけれどもという理解でいいか。</p>
<p>教育部長</p>	<p>環境的には揃えているつもりである。ただ、一部でOSをアップ</p>

	<p>デートして不具合が出ているようなシステムがあるが、別の使い方、要するにオンラインでやることについてはできる環境は整っている。</p>
山本委員	<p>一斉休校になったときに、学校でやっている授業をそのままタブレットを使って自宅でも同じような形でできるか。教師の iPad の配信能力はある程度保障されているのか。また、どんな授業でもタブレットを使って同じような授業が保証されるのか。</p>
別府西中学校長	<p>教師の iPad の配信能力は問題ない。現状では5教科を中心に配信をしている。</p>
山本委員	<p>今日の話を読みきいてやっぱり考えなければいけないと思ったのがプライバシーの問題である。プライバシー、人権に関する問題についてはどういう所が問題になってくるだろうか。</p>
別府西中学校長	<p>去年の段階では、コロナになったという、だいぶ目が厳しいという所があった。今はだいぶ落ち着いてきていると思うが、学校としては休んでいる理由は言わないということはずっと徹底してやっている。</p>
福島委員	<p>黒板だったら大きく見えるけれども、先生が書いているとタブレットの画面が小さく見えないから身に入らないのではないかな。</p>
別府西中学校長	<p>見えにくいという苦情はない。授業で使う課題のプリントを前の日に家に届けるというやり方もやっている。</p>
福島委員	<p>iPad で YouTube を利用すると授業の内容が分かりやすくなると思う。</p>
西中学校長	<p>音楽の授業では YouTube を使っている。NHK FOR SCHOOL という素晴らしい内容のソフトがあり、これも日常的に使っている。</p>
新谷委員	<p>ICTの活用は、非常に効果があるので授業でこれをどんどん使っていくと良いと思う。しかし、教師は授業の準備に大変負担がかかる。教師の負担軽減のためのソフトを教育委員会が予算をとって導入する必要がある。</p>

川崎委員	<p>本来のG I G Aスクール構想でI C Tをというのはそれによって授業の質を変えていくというのが根本にあると思っている。</p> <p>D X（デジタルトランスフォーメーション）で今までやっていたことをどう変革していくかであるが、D Xを推進していく部署が教育委員会でどこにあるのかが見えない。小学校や中学校や先生方に負担をかけないようにD Xを推進していく組織というのも必要ではないかと思う。</p>
市長	<p>総合教育会議は、情報の共有を行って、課題を明確にして共通認識を持って取り組んで行く場である。</p> <p>長野市政は教育に相当にお金を注ぎ込んできたという自負がある。お金をケチるつもりはまったくない。しかし、現場の事は先生にしかわからないので具体的な解決手段を示していただきたい。</p> <p>具体的な情報共有と解決方法をお互いに示しあって一つひとつを解決できたらいいと思う。</p>
教育部長	<p>委員から意見を頂いたことにつきましては帰ってそれに対して一つひとつ問題があれば解決方法を考えていきたいと思う。</p> <p>また、教育D Xということについても考えていく必要がある。それぞれの学校の現場の意見をきちんと聞く機会も少なかったと反省しているので、これについても取り組んでまいりたい。</p>
市長	<p>学校の現場の先生方は大変だということはわかっていますので、しっかりと負担軽減しながらやっていただきたい。</p> <p>本当にどこまで出来ているのかとか、どこまで進化しているのか、格差があるのかというのが見える化できていない。</p> <p>そういったところが具体的に情報共有ができれば、どのような支援をしたらいいのか、どういう配置をすればいいのか、というのが分かりやすくなるだろうと思う。何校中何校できている、何校中何校できていない、またその深さの度合いを共有できたらいいのではないかと思う。</p>
教育長	<p>現状は見たが、課題の集約と明確化を再度、教育委員と確認して、現場の校長先生とも毎月1回会議があるので、もう少し連携をしっかりとしなければいけないと思う。そして子供達の学びの質をしっかりと高めて、また先生達の負担軽減を考えながら取り組みたいと思う。</p>